

# 中学生の税に関する作文 実川美奈さん銀賞に

銚子税務署管内納税貯蓄組合  
総連合会では、昭和五十九年度  
中学生の「税に関する作文」を  
募集、管内十四校から三二五点  
の作品が寄せられました。この  
中から光中三年（当時）実川美  
奈さんの作品がみごと銀賞に輝  
きました。また、二年（当時）  
鈴木由美子さんも銅賞に入賞し  
ています。

いずれの作品も大人が考えさ  
せられる立派な内容で、審査員  
も感心していました。

## 税金という名の家族

光中三年 実川 美奈

ついでこの間まで、  
「税金とはいったい何ですか  
？」と聞かれても私はすぐに  
は答えられませんでした。とい  
うのも、私は今までに「税金」  
というものについて深く考えた  
ことはありませんでしたから。  
税は国民の義務で納めるのが  
当然、それに私の親が働いても  
らったお金からでるんだ。どう

せ子供には関係ない。と今まで  
は思っていました。しかし、私  
はひとつの疑問にぶつかりまし  
た。それは、この税金を納めな  
くなつたらいったいどうなるの  
でしょうか。ということです。  
それにはまず税の役わりから考  
える必要があると思います。  
税は、私たちの身近ないろい  
ろなところで役に立っています。

例えば、学校の教科書、学校  
の建設、運動場の整地、道路の  
工事や下水道、ガス、その他警  
察、消防、教育、環境衛生など  
日常生活の全てにたくさん税  
が役立っているのです。

その税が納められなくなつて  
しまつたら、身よりのないお年  
寄りや、病気で働けない人達は  
どうやって暮らしていけばよい  
のでしょうか。それだけではあり  
ません。税がなくなつてこまる  
のはなによりも私たちの方なの  
です。学校の教科書もなく、学  
校さえなくなり、日常かかすこ  
とのできない水道や道路までつ  
かえなくなつてしまつたら、私  
たちはいったいどうなるのでし  
ょうか。きつととてもこまつて  
しまいます。

税は私達と一緒に生活してい  
るかかすことのできないひとり  
の家族です。今まで無関心だつ  
た税のことも理解できました。  
税と私達はいつとも一緒に行動し  
ているのです。一日一日税のお  
かげで勉強し、運動し、生活し  
ていけるのです。  
私は税に対して感謝の気持ち  
をあらわさずにはいられません。  
私達の生活をいつも見守つてく  
れている税。言葉ではいいつく  
せないほど。  
「ありがとう」。



## 老人ホームで お花見会

光楽園老人ホームでは五月三  
日、園庭でお花見会が開かれま  
した。

青あおとした芝生の上にゴザ  
を引き、思いおもいの食べもの  
や飲みものを久しぶりに合った  
家族や、ボランティアの生徒た  
ちと一緒に食べるお年寄りたち  
はうれしさをかくしきれない様  
子。

模擬の屋台が並ぶ園庭は、一  
日中楽しい笑い声がひびいてい  
ました。



ボランティアの人を  
まじえて  
楽しいひととき

## 近隣中学生

### 日頃の成果を發揮

こどもの日の五月五日、第二  
十二回光町近隣中学校招待総合  
体育大会が十九校から一、三〇  
二人の参加のもとに開かれました。  
当日は午前八時三十分光中ブ  
ラスバンドを先頭に参加校の入  
場行進、開会式のと競技は光  
中運動施設を中心に、町体育館、  
東陽小体育館、八日市場二中体  
育館と分散して行われました。  
各学校から参加した生徒たちは  
日頃の練習成果を存分に競い合  
い、こどもの日の一日をすがすが  
しい汗を流していました。

なお、光中の成績は次のとお  
りです。〈敬称略〉

- 三年男子 四〇〇 m
- 一位 佐久間 朗 56秒5
- 二年男子 一〇〇 m
- 二位 伊橋 英雄 12秒0
- 一年女子 一〇〇 m
- 一位 実川 三恵 14秒4
- 野 球 三位
- 籠球男子・女子 二位
- 剣道男子団体 三位

堂どうの入場行進↓

